



SAGA Rally 2026

Driver: TAKUMI IWAHORI  
Team: 一六RACING

Co-driver: TAKAHIRO AIBARA  
Car: GR YARIS

Date: 2026/4/3~4/5

開催地：佐賀県多久市  
路面：ターマック

天候：土曜 雨 日曜 晴れ  
コースの総距離：301.48km

総SS距離：102.14km

SS数：12

昨年まで「ツール・ド・九州 in 唐津」として、佐賀県唐津市を拠点に開催していたラリーは、拠点を佐賀県の中央に位置する多久市に移して開催されます。ターマック(舗装路)のスペシャルステージ(SS・タイム計測区間)は、2日間合わせて12SSが設定されており、SSの総走行距離は102.14kmにおよびます。4月3日(金)の夕方からは“ウェルカムラリーショー”と題して、JR佐賀駅南口の特設会場でサイン会などのイベントを実施。4日(土)は10時からJR多久駅前の「多久市まちづくり交流センターあいぱれっと」で、セレモニアルスタートが行われ、5日(日)の13時30分頃にラリーの拠点となる「天山 多久温泉 TAQUA」でセレモニアルフィニッシュが実施されました。

SSのコースは昨年までの大会で使用した実績あるSSの一部を取り入れたレイアウトや、新規設定のSSなどを用意。特に初日のSS3/6『AMANOAWA(13.15km)』、最終日のSS8/11『AMANOAWA Reverse(13.17km)』はラリーの中でも距離が長く、大きな差がつきやすいSSになると予想されます。また、最終日のSS9/12『SSS Taku City Central Park(0.88km)』は、公園内の道を使ったまったく新しいコース。距離が短いだけに、ひとつのミスが大きなタイムロスにつながる可能性もあり、選手たちにとっては気の抜けないSSとなりそうです。なお、サービスパークが置かれる「天山 多久温泉 TAQUA」、および観戦エリアが設定される「多久市中央公園」には、協賛企業ブースや車両展示、飲食ブースが展開される予定です。ダンスステージやVR体験など、家族みんなでラリーの週末を楽しめます。会場ではこうしたイベントとともに、トップドライバーたちの迫力ある走りも間近で観戦できます。(引用)



# DAY1

## SS1 TENZAN West 1 **CANCELL** 同率9:24.3

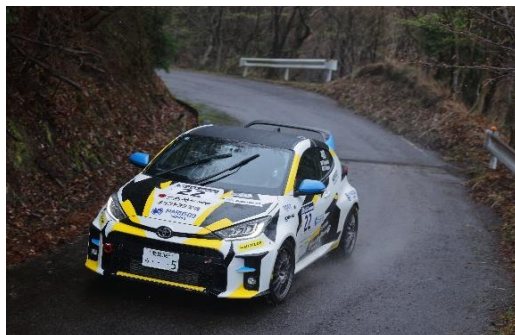
SS1はキャンセルとはなりましたが、どの程度のグリップがあるのか路面状況を把握するためにある程度のスピードでは走行しました。同時にペースノートのリーディングの練習と確認も行うことができ、有効活用できたと思います。

## SS2 TENZAN East 1 6:59.2 (+13.5) MCC 5位/14台 O.A 5位(+13.5)

出走直前にABS故障のエラーが入り、トラクションコントロールが切れなかったためAWD TEST MODEに入れて走行しました。自分の感覚にはなりませんが、このモードに入るとリヤの掻く力が弱くなっているのを感じますし、車両の安定感が通常よりも低下しているように感じます。また、ブレーキブースターをつけているのでABSがなくなると、少し強く踏んだだけでリヤがロックしてしまい全体的に進入のブレーキングが甘くなってしまった印象です。一部クレストすぐ左コーナーで、ペースノート上では「クレスト 20 3L」で表記していましたが、ラリースピードで走ると想定よりも距離がなくペースノートの修正の必要を感じました。そして、全体的にコドラのペースノートのリーディングが遅かったのと、リズムもまだまだなのと左右の間違いによるペースノートのロストが起きました。

## SS3 AMANOGAWA 1 10:02.5 (+1.8) MCC 2位/14台 O.A 3位(+12.7)

SS2では起きていたABS故障のエラーが突然消えて、通常通り走行することができました。そのおかげでSS2に比べて進入スピードもあげることができましたが、何箇所かペースノートの情報不足により進入が甘いところがありました。特に急に出てくるジャンクションで減速を手前からしすぎていました。実際のストレートの距離と自分の中でのストレートの距離に、まだ自信が持てないためそうなっていると認識しています。ペースノートのリーディングが遅く、準備ができないのとペースノートを読む前にすでに通過しているコーナーがあったりしました。左右の間違いも何度かありました。また、コドラの読み間違いにより、ロストしてしまう瞬間もありました。コドラの焦りからか、読む順番が違ったりすることもありました。例えば「stop right turn 3Lsharp」が「stop right turn left 3sharp」と読んでしまうこともありドライバーの一瞬の迷いにも繋がる場面がありました。それでもトップタイムに遜色ないタイムで走ることができたので、修正していけばもっとタイムアップできると思います。



## SS4 TENZAN West 2 9:54.0 (+40.5) MCC 8位/14台中 O.A 5位 (+51.7)

前半から中盤にかけて濃霧により全く前が見えず、コドラもペースノートをロストしてしまい大きくタイムロスしてしまいました。霧で前が全く見えないことにより何度も聞き返してしまったことでコドライバーのペースノートロストに繋がってしまったと思います。霧の走り方は、TGR WRTの講師の方に聞いてもわかりませんでした。今回のような経験を積むことで自分なりにみえてくるものがあるかもしれないので第六感を鍛えたいと思います。中盤から後半にかけては霧が晴れていたのでも全開で走ることができました。

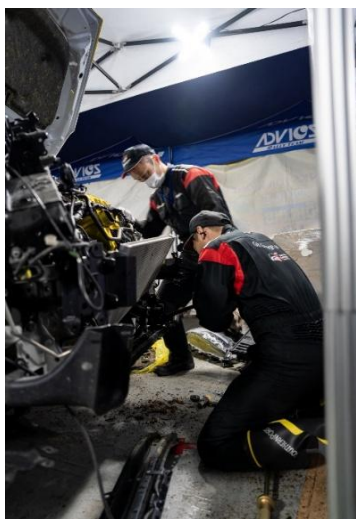
## SS5 TENZAN East 2 6:42.7 MCC 1位/14台中 O.A 5位 (+49.2)

結果だけをみるとトップタイムを獲得することができましたが、コドライバーとの連携はタイムに反比例してできていませんでした。くねくねした道が多く読む量が多いこと、路面が綺麗ではないことによる用語の追加などもあり、ペースノートのロストが多々ありました。コドラとの連携がもっと上手いけば、タイムもより短縮できたと感じています。

## SS6 AMANOGAWA 2 **retire**

スタートして200m先の4rightのコーナーで想定したよりもコーナー出口が巻き込んでおり、曲がり切れずにコースアウトしてしまいました。運良く道には戻れましたが、水温がすぐに上がってしまったため車を止めました。

原因はコースアウトにより、ラジエーターとインタークーラーを損傷して、そこからクーラントが全部漏れたことです。



## DAY1

### Good Points

- ・SS1はキャンセルになったが、路面のグリップレベルを把握する中でペースノートのリーディング練習も実施できており有効活用できている。
- ・SS2で出ていたABSエラーが消え、通常状態で走行できたことにより全体的にコーナーの進入スピードを上げることができた。
- ・SS5ではトップタイムを記録できた。
- ・ドライビング自体のフィーリングは悪くなかった。

### Bad Points

- ・クレスト後の距離(「crest 20」)がリリーススピードで走ると想定したよりも距離がなく危ないシーンもあった。
- ・ドライバーのペースノートへの情報不足によりコーナー進入が甘くなる箇所があった。(SS3)
- ・ハイスピードからの4rightのブレーキタイミングが読めず減速しすぎる場面があった。
- ・ジャンクションで必要以上に手前から減速している場面もあった。
- ・コーナー出口の巻き込みを想定できておらず、SS6でコースアウトに繋がった。
- ・全体的にスピードに対してペースノートの細かさが不足していると感じた。
- ・ペースノートリーディングのリズムが安定していない。
- ・左右の読み間違いが発生している。
- ・読み間違いによるペースノートロストが発生している。
- ・焦りにより読む順番が崩れている。  
実際の例として「stop right turn 3Lsharp」が誤って「stop right turn Left 3 sharp」と読まれるケースあり。
- ・結果としてドライバーが迷う。
- ・ペースノートのリーディング遅れやロストの発生。
- ・霧(SS4)ではドライバーのドライビングも悪かった上に聞き直しによりコドラもペースノートロストしてしまい、大きなタイムロスに繋がった。
- ・ABSがない状態でリアがロックしやすくなり、それによりブレーキングが甘くなってしまった。
- ・AWD TEST MODE時に前に掻く力の低下、安定感の低下を感じた。

# DAY2

SS7 TENZAN West Reverse 1 6:40.7 (+26.3) MCC 8位/14台中 O.A 14位 (+11:06.8)

ABS故障のエラーが再発しました。全開同様、AWD TEST MODEIにして走りましたが、路面も非常にスリッピーでブレーキロックもとてもしやすい状況でした。その中でもできる限りの走りはしましたが、ペースノートロストも重なりトップタイムから大きく遅れる形となりました。

SS8 AMANOGAWA Reverse 1 10:12.6 (+9.1) MCC 3位/14台中 O.A 13位(+11:15.9)

レッキ時とはコンディションがかなり違うため、ペースノートには入れていない箇所泥や汚れがあり路面をよく見ながら走りました。ハイスピードからの4rightのコーナーでブレーキングが早かったのとクレストの次のコーナーへの進入スピードを落としすぎていたことが気になりました。全体的には悪くはなかったかなと思います。ペースノートのロストはありませんでしたが、それでもタイミングが合わないところがありましたので練習を重ねて修正していきたいと思います。

SS9 Taku City Central Park 1 1:01.5 (+6.8) MCC 8位/14台中 O.A 13位(+11:17.1)

スタートしてすぐ左のコーナー(4left)で想定よりもスリッピーで少し失速をしてしまいました。併せて、ギアを2速で進入してしまったことも反省点です。スタートしてコーナーまで距離がないこと、路面が汚れていることは認識できていたことなので、1速でコーナーをクリアするべきでした。このステージは、ターンの箇所が3箇所あり、サイドブレーキが効かないことによりタイムロスも起きたのと、右コーナーにて縁石が視界に入っていないで右のフロントリヤともにヒットさせてしまいました。サイドブレーキにおいては、当たりのつけ方への知識も足りず今大会通して対応することができませんでした。また、時間的な余裕もなかったわけではないので、大会までに当たりつけをしておくべきでした。



SS10 TENZAN West Reverse 2 6:18.4 (+0.8) MCC 3位/14台中 O.A 13位(+11:15.4)

スタートして序盤の方に、左コーナーアウト側にある岩を踏んでしまったことにより右フロントタイヤがスローパンクチャーを起こしました。また、左コーナーでイン側の溝に落ちてしまったことによりタイムロスがありました。溝に完全には落ちてなくても落ちかける場面も何箇所かありましたので車両感覚というかもう少し溝があることを意識して走るべきでした。その他はペースノートも含めてミスなく走りきることができたと思います。

SS11 AMANOGAWA Reverse 2 10:02.0 (+7.2) MCC 4位/14台中 O.A 13位(+11:15.7)

SS10でのパンクにより、スペアタイヤに交換しましたが積んであったスペアタイヤが左用だったため左右逆パターンでの走行となりました。またTCまでの時間も遅着ペナルティーを受けるかどうかの瀬戸際だったため空気圧も調整することができませんでした。ただスペアタイヤもある程度の空気圧調整はしておりましたので、走行は全く問題ありませんでした。全体的に大きなミスもなく走ることができたと思います。ラリー三河湾の時もそうでしたが、前走車が止まっているコーナーは滑りやすいところが多く失速してしまうケースもありましたので、もう少し気を付けて走ろうと思います。

SS12 Taku City Central Park 2 1:01.7 (+8.2) MCC 10位/14台中 O.A 13位(+11:17.0)

サイドが効きはじめるのがかなり上のほうでドライバーが走りながら引くことが困難だったため、コドライバーにサイドレバーを引いてもらうことにしました。最初のターンはドライバーが上手くタイミングを伝えることができずコドライバーを迷わせてしまいました。最初はレバーを引くタイミングが合いませんでしたが、最後のターンは息もあって上手にできました。



## 良い点

- ・レッキ時とコンディションが違うことを認識し、路面を見ながら走行できている。
- ・ノートにない泥や汚れに対して視覚でできる限り対応しました。
- ・SS8: 全体的に大きなミスなく走行できています。
- ・サイドが効かない状況に対して、コドラにサイドを引いてもらう対応。

## 悪い点

- ・ハイスピードからの4rightのコーナーでブレーキタイミングが掴めずに減速が早い場面があった。
- ・クレスト後のコーナーで減速しすぎている。
- ・スタート直後のコーナーで想定よりスリッピーで失速してしまった。
- ・サイドが効かないことによりターンでタイムロス。
- ・ドライバーの車両感覚の欠如。
  - 岩を踏んでスローパンクチャー
  - 溝に落としてタイムロス
  - イン側の溝に落としている
- ・SS7: ABS故障＋スリッピー＋ペースノートロストにより大幅にタイム遅れ。

## 車セッティング

ラリー三河湾からブレーキを純正からエンドレスにアップグレードしました。本番でフィーリングを確かめることになりましたが、純正に比べると極端に制動力が上がっている点と、ブレーキのコントロール性の良さ、そしてそれが最後まで変化なく走り切れる点もあり、ブレーキへの信頼度が大きく上がりました。そのことによりタイム短縮にもかなり寄与したと思います。

しかし、前回のラリー三河湾で出たABS故障トラブルが再発しました。考えられるところを交換して、練習会でも出ないことを確認していましたが、それでも出てしまいました。

それも、エラーが出たり消えたりを今大会通して繰り返しています。このエラーはタイムに直結するため、次戦までには解決したいと思っています。

サイドブレーキもラリー三河湾同様、効きが全くありませんでした。事前の練習会の際は、調整して当たりもつけて効くことを確認していたのですが、ブレーキ一式を新品にしたことにより当たり調整もできておらず全く効かない状態でした。これも、次戦までには調整します。



## 総括

結果だけを見れば悔しいラリーとなってしまいましたが、内容は次に繋がるものだったと思います。初日は自分のミスによりコースアウトしてリタイアしてしまいました。ただ、中でも得られたものは多く、コドライバーとの連携も確実に良くなってきています。特に今回は走行中のリアルタイムなリーディングタイムの修正ができたのが大きかったと思います。SSを追うごとにタイミングもあってきていました。また、ラリー三河湾でのマシントラブルも再発しておりますが、次回までに原因箇所を探して対策できればラリー飛鳥ではもっと上位を狙えると確信しています。

